

ビヨンドコロナ時代の新生へメッセージ すべての学びの機会を活かして、**興動人**を目指そう



新生入生にひとことお願いします

社会が大きく動き出した2023年。大学生として一歩を踏み出す新入生へのメッセージを、石田優子学長に聞いた。

まずは心から、入学おめでとう、と言いたいです。世界が新型コロナウイルス感染症という脅威に見舞われてから3年間、多感な高校時代を、多くの制約と不安の中で過ごすことになりましたが、くじけず、しっかりと勉学に励み、大学入学という新しい門出を自らの力でつかんだ新入生の皆さんの健闘を称えたいです。また、皆さんを支えてきた

ご家族をはじめ、周囲の方々もほつとされていることでしょう。

さて、4月の希望に満ちた晴れやかな気持ちを胸に、これからはまる4年間、大いに学び、大いに経験を積んでほしいと思います。4年間は、長いようであつという間です。やりたことを見つけてから行動する、というのでは間に合いません。好奇心を持って、

まずは行動していきましよう。いろいろなことに挑戦しながら、夢や、自分はどういう人間なのかを探し、成長していったほしいと思います。

自分で選びます。大学には「単位」制度があり、自ら学んで理解しなければ授業の単位は得られず、卒業できません。授業時のノートの取り方も工夫が必要ですし、それをヒントにした授業外学習も重要です。こうした大学での学び方に、新入生が戸惑うことのないよう、1年次必修の「入門ゼミ」で教員がサポートします。ゼミは15名程度の少人数クラスで、最初の友人作りにも役立ちます。

広経大はゼミも活発ですね

「入門ゼミ」にはじまり、本学では、全学生、4年間、少人数というゼミナール体制をとっています。大学生

自分では高校までとは違う点がたくさんあります。たとえば、どの授業を受けるかといったことも、大学では必修科目をのぞいて



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号 (082) 871-1000(代)
オフィシャルサイト <https://www.hue.ac.jp/>

2面	HUE! HUE! TOPICS
3面	2023年度奨励金・ロシニクト活動振興費・進路就職支援振興費
4面	2022年度学位記授与式挙行
5面	随想
6面	2023年度入学試験結果



新入生オリエンテーションの一場面

細やかな支援で、面倒見の良い大学と評判です

前述のオリエンテーションも、教職員で準備にあたります。団結して学生の支援にあたるのが本学の伝統。本学には、教職員の行動指針「Be Student-oriented」すべては学生のために」があり、それが細部まで浸透しています。女子学生支援や、授業でわか

「ゼロから立ち上げる」興動人が、本学の人材育成目標です。興動人とは「既成概念にとらわれず、ゼロから物事を考え、失敗を恐れず、他者と協働して何かを成し遂げられる人」のことです。予測不可能な時代、未来を支えるのは「主体性、創造性、共感力のある多様な人材」であると言われて

「コロナ禍を越えて、学生は成長している」
政府の方針が変わり、社会が動き出したことは本場に嬉しい。コロナ禍の制約の中でも、学生は必死に学び、成長してきました。それだけでなく、新しい世界に外に出て、新たな世界にふれて学ぶ経験を、のびのびとさせてやりたい。この3年間、学生と教職員、同窓

「教室のない授業」という特性をふまえ、改革が必要です。ただ、本学では知識のみならず、人間力などもあわせて、人としての成長を目指しています。教育には、「教える」と「育てる」という側面があり、「育てる」側面においては、学生一人ひとりと対面での丁寧な対話や経験の機会が必要で

運動プロジェクト活動報告会を開催します。学生たちが、1年間の活動を発表するのですが、学生たちの湧き上がった思いが背中を押します。この経験は一生思い出として残り、将来もっと大きなプレゼンテーションをする際にも「あのときの自分」が支えてくれるはずです。



現地で活動するカンボジア国際交流プロジェクト

「相手に伝える力」を競う 興動人入門ゼミ

興動館教育プログラムへの理解を深め、積極的に取り組んでいけるよう、1年次後期に「興動人入門ゼミ」を必修科目としている。チームで議論や発表を行い、興動人のイメージづくりやプロジェクトの企画方法、発表の心得などを学ぶ。今年度は「世の中の課題を発見し解決する」をテーマに1年次生全員が企画案を競う発表会を開催。216チームが出場し、52チームが予選を通過。11チームが最優秀賞に選ばれた。社会に求められる力を今後も育成していく。



最優秀賞に選ばれた坂間ゼミ

データやAIと適切に付き合うために AIリテラシー入門

2022年度から「AIリテラシー入門」を開講。情報通信技術やAIの発達により急激に変化する社会を生き抜くために、溢れるデータをどのように読み取り、AIがどのように進化していくのかなど、3名の教員がオムニバス形式でグループワークも交えながら授業を展開。政府のAI戦略の一つとして、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育が、文理を問わず全ての大学に求められており、本科目はこれに対応したものである。



「相関関係の背後にある因果関係をさぐる」の授業風景

SNSを活用してファンを増やす 関隆教ゼミ

森永乳業(株)とコラボレーションし、デジタルマーケティングプランを提案する発表会を開催。森永乳業(株)西日本支社中四国支店からの依頼で、同社商品「ミルク生活」を題材に、学生は2チームに分かれて4月から約9カ月間、市場環境の分析、STP分析、そして4P分析といったマーケティング分析を行い、「ミルク生活」のマーケティングプランを企画。発表会では社員の方々に向けて新市場開拓の戦略や商品デザインの改善策を提案した。



オンラインとのハイブリッド型で行われた発表会

授業やゼミ活動を通じて自ら主体的に学び考える!

ビジネス現場の事象や知識を得るために本学では、理論と実践の両面から、経済や社会について学ぶ機会を設けています。ここでは、学生たちの活発な2022年度の活動の一部を紹介します。

「地方創生」を目指して 藤原久嗣ゼミ

広島市による、広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業補助金の交付事業に採択された、店舗などの活動を踏まえ、今後の道の駅の在り方を提言した「道の駅の利用促進に向けた課題分析と実証事業」、DX化に向けた課題分析と高齢者が人とつながり続けることができる「コロナ禍での交流機会の促進—学生による高齢者向けスマホ講座—」の2つの取り組みについて広島広域都市圏28市町の市長と町長が出席する会議で活動成果を発表した。



広島広域都市圏協議会にて活動成果を発表

経済波及効果を分析し、より良いイベントへ 得津康義ゼミ

8月の1カ月にわたり開催された第1回ひろしま国際平和文化祭の経済波及効果を測り、報告会を開催。学生はイベントごとに経済データ分析の手法とアンケート分析から経済効果を考察し、7チームに分かれて改善案を提案。報告会には、主催者であるひろしま国際平和文化祭実行委員会事務局の4名に越えいただき「イベントごとに分析しているところが面白い、次回はSNSでの情報発信などに力を入れたい」などの総評をいただいた。



チームごとに改善案を提案

企業の魅力を伝えたい 「私たちの広島」PR実践

「私たちの広島」PR実践で、地元企業のイメージや商品をPRするためのデザインを制作し、企業担当者に向けて発表した。これは、未来会議@Hiroshima(広島ホームテレビが運営)と連携した取り組みで、地元企業3社((株)大興、(株)フレスタ、(株)ジュンテンドー)とコラボレーションしたものである。発表会では、企業の要望に応えるために工夫した点や制作したデザインの意図などについて説明。今後は企業イメージや商品のPRで実際に使われる予定だ。



学生たちがデザインした制作物

学生ならではの斬新な発想を! 細井謙一ゼミ

カゴメ(株)より7名の社員の方をお招きし、マーケティング研究会を開催。ビジネス現場のマーケティングについて講演いただいた後、4チームの学生たちが事前に検討を重ねてきたカゴメのマーケティング活動に関する改善提案(マーケティングプラン)を発表。この提案が実際のビジネス現場で通用するのかがディスカッションを行った。現場で実行する際には不足している点などの指摘をいただき、学生たちは実学としての有意義な学びにつながった。



真剣な眼差しでプレゼンする学生

私のゼミナール 雑感

92

経済学科
竹林 栄治
教授

竹林ゼミ3年では、広島・ドイツ交流史と軍都広島史の歴史の学習を通じて、明治から太平洋戦争終結までの「歴史の継承」と「広島」の観光振興に取り組んでいる。その際、教室内での学びだけではなく、現地で学ぶだけでなく、現地の外部への発信を重視している。2022年度には、11月に2年ゼミ、ドイツ人留学生らと共に、第一次世界大戦時に広島市の沖合に浮かぶ島に収容され、今も比治山陸軍墓地に眠るドイツ兵捕虜の追悼式を企画・実施した。さらに、12月に観光客に対して、広島に、4月から9月にかけて授業内や週末に広島・ドイツ交流史や軍都広島の歴史の学習や現地の下見等を行った。追悼式当日には来賓用天幕の設置と撤去、墓地とその周辺の清掃、来賓名簿のチェック、日本語とドイツ語による司会進行をゼミ生が実施した。戦

大学生による歴史の継承と観光振興



跡ガイドの際は観光客の動線確保やメディアへの対応等を行った。

その他にも、5月に学内

で「沖縄返還50周年特別講義」を開催し、復帰後の沖縄の経済・社会を学んだ。7月には福山市のホロコースト記念館として、ユダヤ人の大量虐殺や福山空襲による被害等広島以外の戦争被害について学習した。その際、福山空襲体験者を家族に持つ職員から体験談を聴き取り、文書化した。これから、日独両国の近現代史に関する知見を活かして、大学生による「歴史の継承」と「広島」の観光振興に取り組んでいきたい。

(経済基礎Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、大学入門ゼミ、興動人入門ゼミ、プレゼミ、演習Ⅰ・Ⅱ)

経営学部スポーツ経営学科

岡安 功 教授

スポーツと多文化共生

先日、授業に出席していたドイツからの留学生は、野球への関心はあったがルールは知らなかった。もちろん、日本人のMLB選手を尋ねても知らなかった。私たちが常識と思っている事は、私たちだけの常識であると考えた。私たちが常識と思っている事は、私たちだけの常識であると考えた。

日本の在留外国人が約300万人(出入国在留管理庁、2022年6月末集計)に近づくグローバル化が待ったなしの中、スポーツを通じた国際理解、多文化共生を進めることはできないかと考える。人々が集まり、スポーツを共通言語にして楽しむことは、相互理解につながり、持続可能な多文化共生社会の形成の可能性がある。

社会学や文化人類学では、社会同化や文化変容という概念で、100年以上前から研究が進められてきた。レジャー・レクリエーションや体育・スポーツ科学でも、このテーマの研究はおこなわれている。筆者は、2019年度に笹川スポーツ財団の助成を受け、カナダにおける移民のスポーツ参加についてウォータールー大学のグローバー教授と調査を実施した。ランニング・クラブに参加する移民にインタビューすると、クラブへの参加は運動・スポーツの機会だけでなく、クラブの仲間とコミュニケーションの機会になっていた。ホームパーティーに参加する人、一緒に旅行に出かける人もいた。ホスト社会の人たちと移民の交流は、スポーツを通じた地域のネットワークづくりの一助になると考える。一方で、移民が運動・スポーツ機会を探すためには、言語や交通手段という阻害要因があった。つまり、運動・スポーツへのアプローチは、個人だけでなく、政策的側面も含めて解決が必要な課題である。

多文化共生を考える上では、文化心理学の視点が重要になる。例えばMarkus & Kitayama (1991)は、欧米の文化とは異なる東アジア・日本における相互依存・協調などが重視される「相互協調的自己観」を提唱した。つまり、私たちの態度や行動は、欧米とは違う視点がある。文化は、人々と社会の相互作用によって形成されている。地域のスポーツ文化も、その地域に住む人々によって醸成されている。一方で、様々な人が住む地域社会には、それぞれの背景を踏まえたスポーツに対する考え方や価値観がある。

スポーツと多文化共生は、決して外国人だけでなく障がい者なども含まれる。またそれは、単純な構造ではない。研究としては、インターセクショナリティなどを含めた検証を、丁寧に進めなければいけない。そして、さらにボーダレス化する現代社会では、「多様性と多文化共生(野川、2003)」においてスポーツの果たすことができる役割を検討することも重要な点である。

アカデミック
の扉
door of Academic
～研究紹介～



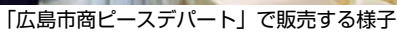
子ども達を守ろうプロジェクト

広島保護観察所所長感謝状を受取る片山さん（左）

スポーツを通じた共生社会実現プロジェクト

アンプティサッカーを体験する参加者たち

現在、新たに2つの商品の開発も進んでいる。また、12月頃には興動館の駐車場を使つての「興動館マルシェ」の開催を計画中。今後の活動にも期待したい。



2023年3月15日現在

2022年度 学位記授与式挙

3月16日、上野学園ホール(広島市中区)において、2022年度学位記授与式が、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえで挙行され、経済学部321名、経営学部309名、メディアビジネス学部105名、大学院11名に学位記が授与された。

それぞれの学部及び大学院の代表が壇上に上がり、石田優子学長から学位記を受け取った。同時に教育職員免許状授与式も行われ、免許状が授与された。続いて、学業に

優れ、他学生の模範となった卒業生に学長賞と優秀賞が贈られた。

昨年度まで設けていた人数制限を撤廃し、多くのご家族や来賓、教職員らが祝福するなか、式は緊張のなかにも和やかな雰囲気の中に終了した。

式終了後にはゼミ単位での謝恩会が4年ぶりに開催され、担当教員や卒業生同士で語り、別れを惜しみながら新たなステージへと巣立っていった。



巣立ちの言葉

～学びと経験、すべてに感謝を込めて～

message

ハングリー精神で、
目の前のチャンスを
掴もう!

奥原 芽衣子さん
2023年3月メディアビジネス学科卒業
島根県/松徳学院高校出身



高校生の頃からドキュメンタリー制作に興味があった私にとって、映像制作を実践的に学べるメディアビジネス学科は最高の環境でした。2年次の冬から仲間と3人でドキュメンタリー制作を開始し、取材と編集に1年以上かけて、「黒い雨」から76年 短命村と呼ばれる里から」を完成させました。私はカメラマンを担当しましたが、当初は機材の知識がほとんどなく、実践のなかでスキルを磨きました。大学にはカメラやマイク、編集機器などが全て揃っており、いつでも使える環境が整っていたことも、意欲的に学ぶ大きな力になりました。

特に印象に残っているのは「黒い雨」訴訟の裁判の判決が出た際の撮影です。新聞社やテレビ局などのプロのカメラマンと並んで裁判所前で撮影するため、最初の頃は雰囲気圧迫され、思うように撮影できず、悔しい思いをしました。そして、制作のサポートをしてくださった先生から「撮りたいと思った画はなんとしてでも撮きなさい」と叱咤激励をいただき、気持ち切り替えることができました。多くの記者がいるなかで、最前列を陣取り、プロのカメラマンから文句を言われながらも踏ん張って、自分の満足のいく撮影をすることができました。



message

想像を超える
新しい自分に
出会える!

西野 紗也加さん
2023年3月経営学科卒業
広島県/廿日市西高校出身



校生の頃は、授業で発表することでもできないくらい内気な性格でしたが、プロジェクト活動を通して

して少しずつ自信がつき、今では自分の経験を自信を持って人に伝えられるようになりました。

その一歩を踏み出したのは、職員の方のアドバイスのおかげです。リーダーに立候補するか悩んでいた私に、「挑戦の先には成功が待っている。一生懸命取り組んでください。」と背中を押してくれました。

もたくさんいたとき、自分の想像を超える成長ができました。



message

たくさんの出会いと
かけがえのない経験が
成長の力になる!

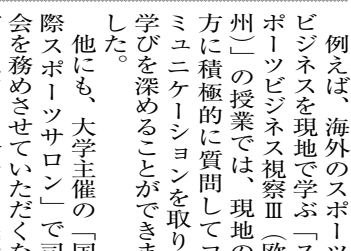
桑田 周生さん
2023年3月スポーツ経営学科卒業
岡山県/吉備高原学園高校出身



高校生の頃は、人前で話すことが得意ではありませんでした。しかし、大学で「応援団リーダー部」に入り、さまざまな活動を経験し、多くの人の前で堂々と話せる度胸と発信力が鍛えられました。特に、3年次の経大祭(大学祭)のステー

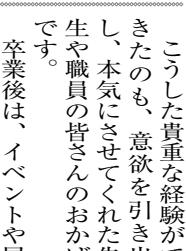
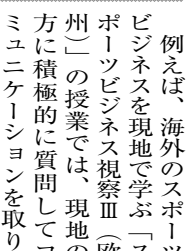
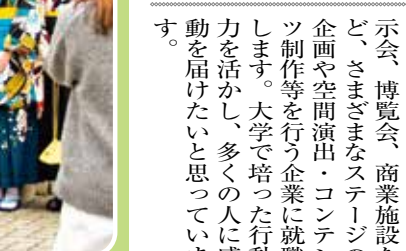
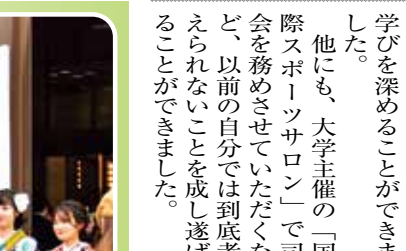
ジでは、エールを切る大役を担当し、緊張しながらも全力でやり遂げた経験が大きな自信になりました。

コロナ禍では、応援団の醍醐味である声を出す活動が制限され、もどかしい日々を過ごしました。しかし、そんななかでも「今しかできないことがある」と



こうした貴重な経験ができたのも、意欲を引き出した、本気にさせてくれた先生や職員の方のおかげです。

卒業後は、イベントや展示会、博覧会、商業施設など、さまざまなステージの企画や空間演出・コンテンツ制作等を行う企業に就職します。大学で培った行動力を活かし、多くの人に感動を届けたいと思っています。





古い握手を交わすサッカー部 服部公太監督(左)と女子サッカー部 向井祐介監督(右)

サッカー部監督に服部公太氏、女子サッカー部監督に向井祐介氏が就任

2月1日、2013年から本学サッカー部の監督を務めた高橋真一郎監督の

退任に伴い、新監督にサ

ンフレッチャ広島で選手・ユースコーチとして活躍

した服部公太氏が就任した。服部公太氏は渋谷教育学園幕張

に就任した。服部公太氏は渋谷教育学園幕張に就任した。服部公太氏は渋谷教育学園幕張に就任した。

また、2014年より女子サッカー部の初代監督を務めた横道玲香監督の退任に伴い、新監督にアンジュ

ヴィオレ広島前監督の向井祐介氏が就任した。向井祐介氏は、デイトンサウスウェスト(国体チーム)を歴

任。2022年にはアンジュヴィオレ広島の監督を務めた。

1月12日、学生懸賞論文各賞の授与式が行われた。本学の学生懸賞論文は論文作成のプロセスにおいて技法の会得や教員とのコミュニケーションを図るなど、人間形成の場となるように企画されている。審査結果は以下のとおり。

▽最優秀賞(1編) 相原良香(メディアビジネス学科1年) 【論文題目】人の命をデザインする「デザイン・ペイ

【論文題目】「デザイン・ペイ」に関する大学生を対象とした意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)



最優秀賞・優秀賞受賞者

2022年度学生懸賞論文審査結果

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)

【論文題目】「人の命をデザインする」に関する意識調査(指導教員 後藤心平) 【優秀賞(2編)



笑顔でゴールテープを切るアンカーの竹平奏太選手

11月27日、山口市で開催された「第66回中国四国学



受賞を喜ぶ尾方剛監督(左)と山崎優希さん(右)

陸上競技部が「第66回中国四国学

陸上競技部が「第66回中国四国学

陸上競技部が「第66回中国四国学

陸上競技部が「第66回中国四国学

陸上競技部が「第66回中国四国学

陸上競技部が「第66回中国四国学

陸上競技部が「第66回中国四国学



学長表彰者

学長表彰者



学部長表彰者

学部長表彰者

学部長表彰者

学部長表彰者

学部長表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

2022年度後期資格・能力等表彰者

随想

NHK連続テレビ小説「舞いあがれ」を観ながら

「舞いあがれ」を観ながら

「舞いあがれ」を観ながら

「舞いあがれ」を観ながら

螺子の思い出



経営学部経営学科 岡本 康昭 教授

経営学部経営学科 岡本 康昭 教授

経営学部経営学科 岡本 康昭 教授

サークル戦績

サークル戦績

サークル戦績

サークル戦績

バスケットボールを心から楽しもう！男子バスケットボール部

バスケットボールを心から楽しもう！男子バスケットボール部

バスケットボールを心から楽しもう！男子バスケットボール部

バスケットボールを心から楽しもう！男子バスケットボール部

CIRCLE・INFO!



CIRCLE・INFO!

CIRCLE・INFO!

人事

役職就任

〔令和5年4月1日付〕
教育職
 国際教育交流センター
 森川 寛 課長(教育・学習
 支援センター課長)



経営学部学部長・経営学科主任
 細井 謙一

〔大学院経済学研究科科
 長〕一橋信之

新任

〔令和5年4月1日付〕
教育職
 〔教授〕宜名真勇・西脇廣
 治〔准教授〕K. I. ツエ・
 堂本絵理〔助教〕松榮豊
 貴〔講師〕中川梓・藤田
 香織



講師
 井上 彩

担当科目
 必須英語AⅠほか

事務職



学務センター学生課主事
 新出 能裕



総務部管財課
 吉迫 大志

〔内部監査室室長〕岡田 英
 幸(事務局長兼務)

昇格

〔令和5年4月1日付〕
教育職
 〔教授〕竹林栄治・山根智
 沙子〔准教授〕角裕太

異動

〔令和5年4月1日付〕
事務職
 〔総務部総務課〕加藤 丈太

兼任

〔令和5年4月1日付〕
事務職
 〔国際教育交流センター〕
 森川 寛 課長(教育・学習
 支援センター課長)

兼任

〔令和5年3月31日付〕
理事・評議員
 〔常務理事〕松井 寿貢

兼任

〔令和5年3月31日付〕
教育職
 〔教授〕宜名真勇・西脇廣
 治〔准教授〕K. I. ツエ・
 堂本絵理〔助教〕松榮豊
 貴〔講師〕中川梓・藤田
 香織

兼任

〔令和5年3月31日付〕
事務職
 〔内部監査室室長〕松井 寿
 貢〔学務センター学生課
 主事〕上堀次徳

兼任

〔令和5年3月31日付〕
教育職
 〔教授〕宜名真勇・西脇廣
 治〔准教授〕K. I. ツエ・
 堂本絵理〔助教〕松榮豊
 貴〔講師〕中川梓・藤田
 香織

兼任

〔令和5年3月31日付〕
事務職
 〔内部監査室室長〕松井 寿
 貢〔学務センター学生課
 主事〕上堀次徳

岡本貞雄 おかもとさだお
 令和4年12月20日、ご逝
 去された。享年70歳。平成
 3年10月に本学に就任。学
 生相談室室長、教養教育部
 主任を歴任。令和3年3月
 に退職され、本学の名誉教
 授となる。



〔第26回 EBS インター
 ネットビジネスフォーラム
 2022〕において、「学
 生が考えるICTを活用し
 たビジネス事例」でアイデ
 アを応募した鏑鍋純平さん
 (広島県/日彰館高校出身)
 が、優秀ビジネス事例(学
 生の部)に選定された。11
 月29日に開催されたビジネ
 スフォーラム2022では
 「手軽に香辛料・調味料を」
 と発表し、賞状を授けら
 れた。



入賞を喜び鏑鍋純平さん

松井寿貢常務理事退任



松井 寿貢氏

3月31日、松井寿貢常務
 理事が理事・評議員を退任
 した。

松井寿貢常務理事は、平
 成20年5月1日に理事・評
 議員・事務局長として本学
 に就任。平成31年3月31日
 まで事務局長を務めた。平
 成29年4月1日に常務理
 事、令和4年4月1日に内
 部監査室室長を兼務。15年
 にわたり大学改革に貢献し
 た。

私は石田学園にお世話に
 なって15年です。その間、
 石田学園に来て働いたこと
 を後悔したことは一度もあ
 りませんでした。それは、
 楽しく仕事をさせていただ
 いたからです。誤解をし
 ないでいただきたいのです
 が、決して楽だったわけでは
 ありません。働き甲斐があ
 ったのです。

さて、本学の建学の精神
 は「和を以て貴しと為す」
 です。教職員の行動指針は
 「Be Student-oriented (す
 べては学生のために)」で
 す。それらに基づいた教育
 課程はカリキュラムコー
 ディネート会議で議論され
 ましたが、他大学に例を見
 ないのは、委員以外の他の
 教職員が自由に参加できる
 ことでした。教職員セミ
 ナーでは教員と職員が共に
 同じテーマを議論して、ベ
 クトルを合わせていきま
 す。部活動も全国大会級
 の試合には、学生、教職員
 に呼び掛けて、東京でも
 応援に出かけます。私は本
 学の卒業生ではありません
 が、否が応でも愛校心が生
 まれました。



取材対象者に寄り添いながら撮影を行う様子

の音楽ユニット「げんきな
 こ」に密着したものである。
 過ぎていく時間を音楽で引
 き止めながら、大切なこと
 は「いま」を充実させて人
 生を最後まで生き抜くこと
 だと訴える作品となってい
 る。同学科からの入賞は、
 2019年から5年連続とな
 った。

ジャーナリズムを研究す
 る同ゼミでは、実践の場と
 してドキュメンタリー制作
 に今後も意欲的に取り組ん
 でいく。作品はYouTube
 で視聴できる。

大学職員として教育機関
 に就職して52年、教育と
 いう職場に係ることができ
 て、本当に良かったと思っ
 ています。さらに晩節を学
 校法人石田学園で役員とし
 て働くことができたことを
 、石田恒夫理事長はじめ
 教職員の皆さまに感謝して
 筆を置きます。

本書はさまざまな正多面体に見られる黄金比を「神聖比例」と名付けて論述したもので、著者のパチョーリは「近代会計学の父」と称される15-16世紀イタリアの数学者である。北イタリアの小さな町で生まれ、19歳の時にヴェニスで本格的に数学研究の道を進み始めたパチョーリは、後に修道士となってイタリア各地の大学で教鞭をとり、1494年に数学の知識をまとめた全集「算術・幾何・比および比例総論」、通称「ズンマ」を出版して名声を博した。彼が「近代会計学の父」と呼ばれるのは、この本の中で当時のヴェニスで使われていた複式簿記を世界で初めて体系的に記したことによる。「ズンマ」に並ぶもう一つの主著が、1509年に出版した本書である。内容の異なる三部から成り、神聖比例についての概要は第一部にあたる。その後、第二部で建築論、第三部で正多面体についての論述が書き加えられた。巻末には神聖比例への理解を深めるための挿絵があり、その中でも59葉の多面体図は彼と親密な関係にあったレオナルド・ダ・ヴィンチが作図したことと有名である。本書はルネサンス期における黄金比研究の先駆的な一冊であり、数学だけでなく芸術の分野へも大きな影響を与えた名著である。

2023年度 入学試験結果

■ 2023年度 総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、共通テスト利用選抜 入学試験結果報告

入試制度	募集人員 (人)	志願者数 (人)	受験者数 (A) (人)	合格者数 (B) (人)	競争率 (A/B) (人)
総合型選抜	20	37	37	7	5.3
学校推薦型選抜	340	824	824	705	1.2
一般選抜					
1期(A方式・B方式)	280	2,150	2,109	950	2.2
国公立受験生支援	10	42	41	17	2.4
2期	55	138	127	94	1.4
共通テスト 利用選抜					
1期	110	622	622	535	1.2
2期	35	61	61	42	1.5
計	850	3,874	3,821	2,350	

オープンキャンパス2023情報



オープンキャンパス2023を開催します。模擬授業や個別相談など楽しいプログラムを用意して皆さまをお待ちしております。
 ※最新の情報は公式サイトでご確認ください。

6/11(日)・7/22(土)・7/23(日)・8/20(日)

中四国、県内遠方からは
無料送迎バスを運行します(要予約)
 〈問い合わせ先〉入試広報センター TEL.082-871-1313

2023 ひろしまフラワーフェスティバル参加のお知らせ

6月10日(土)・6月11日(日)

2019年以来4年ぶりにひろしまフラワーフェスティバルに「興動人ひろは」で参加します。学生を中心としたさまざまな催しを用意し、皆さまの来場をお待ちしております。ぜひお越しください!



BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第45巻 第3号(2023年3月)
 【論説】
 『国富論』第1篇第5章冒頭三段落について 中川 栄治(名誉教授)
 「価値の因果的説明の問題」と「価値尺度の問題」の視点から一 細井 謙一(教授)
 アフターコロナ禍におけるお好み焼き店の共食回復戦略類型 金丸 輝康(大学院教授)
 竹村 正明(明治大学 教授)

【研究ノート】
 江戸時代における貨幣経済の発展と幕末諸藩の財政危機 野北 晴子(教授)
 ―その現代的意義を考える― 経済研究論集 第45巻 総目次

◆広島経済大学研究論集 第45巻 第3号(2023年3月)
 【論説】
 教師による授業づくりのための対話的な研究協議会の改善 鳳森 裕暢(教授)
 ―広島市教育センター「子どもの学習意欲を高める授業探究研修」の実践を通して― 川口 健史(広島市教育センター指導主事)
 日本の相続税法における連帯納付制度に関する研究 餅川 正雄(教授)
 ―相続税と贈与税の連帯納付義務の法的性質について― 餅川 正雄(教授)
 機械翻訳の普及と英語学習への意識や動機づけとの関係 石川 佳浩(講師)
 ―中学生・高校生へのアンケート調査の結果から―
 【資料】
 第17回世界陸上競技選手権大会(カタール・ドーハ)視察報告 尾方 剛(准教授)
 ―男子マラソンに着目して― 研究論集 第45巻 総目次

学生の皆さんへ
 「論集」には先生方の最新の研究成果が掲載されています。最新号は、1号館玄関・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の場合は、地域経済研究所まで来てください。

保護者様向けメールマガジン配信中
(通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法は公式サイトから「保護者の方」をクリックしてください。



本学図書館
 所蔵書物紹介コーナー

知の系譜 No.56

パチョーリ「神聖比例論」初版
 1509年 パガニウス印行 ヴェニス刊
 Pacioli, Luca, 1445-1517.
 Divina Proportione.
 Venice: Paganino de Paganini, 1509.

本書はさまざまな正多面体に見られる黄金比を「神聖比例」と名付けて論述したもので、著者のパチョーリは「近代会計学の父」と称される15-16世紀イタリアの数学者である。北イタリアの小さな町で生まれ、19歳の時にヴェニスで本格的に数学研究の道を進み始めたパチョーリは、後に修道士となってイタリア各地の大学で教鞭をとり、1494年に数学の知識をまとめた全集「算術・幾何・比および比例総論」、通称「ズンマ」を出版して名声を博した。彼が「近代会計学の父」と呼ばれるのは、この本の中で当時のヴェニスで使われていた複式簿記を世界で初めて体系的に記したことによる。「ズンマ」に並ぶもう一つの主著が、1509年に出版した本書である。内容の異なる三部から成り、神聖比例についての概要は第一部にあたる。その後、第二部で建築論、第三部で正多面体についての論述が書き加えられた。巻末には神聖比例への理解を深めるための挿絵があり、その中でも59葉の多面体図は彼と親密な関係にあったレオナルド・ダ・ヴィンチが作図したことと有名である。本書はルネサンス期における黄金比研究の先駆的な一冊であり、数学だけでなく芸術の分野へも大きな影響を与えた名著である。